

公立大学法人青森県立保健大学地域連携ポリシー

公立大学法人青森県立保健大学は、「地域社会への貢献」という使命に基づき、地域の保健、医療及び福祉の向上を目指して、住民、地域活動組織、事業者、自治体等の多様な主体と積極的に連携・協働する。そのプロセスにおいては、ヘルスプロモーションの理念に則り、地域資源の有効な活用とエンパワメント、並びに自らの教育・研究力を高めるように努める。研究においては、多様な専門性及び多職種による連携と学際的・俯瞰的な研究を重視し、研究成果を具体的な形で地域に還元し、地域基盤の強化につなげる。また、ボランティア活動を、地域社会への貢献並びに学生のキャリア形成の視点からも推進する。地域の人々及び保健医療福祉を担う専門職のヘルスリテラシー向上を目指した活動を行い、人々が自らの健康を守り・高めるための力を養う。

これらの目的を達成するために、以下の取組を行う。

1. 地域の課題解決に資する研究の推進と成果発信

- 1) 地域の課題解決に資するプロジェクト型研究を外部団体や研究者・実践者等との様々な連携の下に計画的に実施し、研究成果を発信し、社会実装につなげる。
- 2) 大学院生や若手研究者、地域の実践者等との共同研究を通じて、地域の未来を支える研究や高度な実践を担うことのできる人材を育成する。
- 3) 様々な研究成果や実践活動を共有し、議論し、次の段階の発展へとつなげることができそうな研究発表会を企画・実施する。

2. 地域との共生及び交流の推進

- 1) 開かれた大学として地域住民や地域活動団体等と連携・協力し、健康的で住みやすいまちづくりに貢献するとともに、大学の教育研究の充実につなげる。
- 2) 教職員が有する専門的知識やスキルを活用し、地域住民の健康づくりや生活支援に寄与する。
- 3) 地域社会の多様性を理解し、多職種連携によるセーフティネットの構築等に資する活動や研究を行う。

3. ボランティア活動の推進

- 1) ヒューマンケアを実践する専門職として、キャリア形成の基盤となる社会人基礎力等の涵養に寄与するため、学生のボランティア活動への積極的参加を促す。
- 2) ボランティア活動に興味・関心のある者が予め登録できる仕組みを設け、情報提供の円滑化を図る。
- 3) ボランティアに求められる心構えや知識・技能の習得を目的として、登録者を対象とした研修会などを企画・開催する。

4. 地域における学びの場の提供

- 1) 地域の皆様にとって身近な学びの地域拠点として、ヘルスリテラシーの向上や豊かな暮らしにつながるテーマを選定し、公開講座や少人数ゼミなどを企画・実施する。
- 2) 地域に密着した教育、研究、実践活動のプロセスの中で、地域の皆様がより深く学び、相互に理解と連携を深め、地域の課題を解決する力を養うための機会を設定する。

平成 21 年 2 月 3 日制定
令和 2 年 6 月 1 日改正
令和 5 年 1 月 12 日改正
令和 6 年 4 月 1 日改正